

特別展

【今和次郎 採集講義―考現学の今】
今和次郎が関東大震災後の日本で創始した考現学は世相を徹底的に観察・記録する学問で、生活文化の変化を捉える視点は民族学の目指すものと同じ。考現学の原点とみんなくでの展開を紹介し、モノと生活文化の関わりを考えます。
会期 6月19日(火) まで
会場 特別展示館

■関連イベント
◆ワークショップ
【みんなくを飛び出してモノ調べ・風景調べ】
何かテーマを決めて身近な風景やモノを見わたし、写真に撮って「切しらべ」、それら写真を持ち寄って皆で談論風発。一つの視点に基づいた徹底調査や比較は、誰にでもできる文化研究の第一歩、身近な生活世界を見つめ直してみましょ。

(2回連続講座)
1回目 5月27日(日) 10時30分〜12時
2回目 6月9日(土) 11時〜14時30分
会場 ナビひろば
※参加無料、要申込(5月20日応募締切)
※定員20組(1組何名でも参加可能)
※申し込み方法、参加条件についてはホームページでご確認ください。
お問い合わせ先
情報企画課ワークショップ係
電話 06-6878-8532

◆みんなく映画会
【記録映画 昭和の家事】
「昭和の家事」は、明治43年生まれの主婦、小泉スズさんが日常的に行っていた家事を彼女が暮らした家(現・昭和のくらし博物館/東京都大田区)で3年間にわたり丹念に撮影した記録映画です。昭和時代の庶民の生活の記録としても大変貴重な映像です。
日時 6月3日(日) 13時30分〜16時
(開場13時)
会場 講堂(先着450名)
※参加無料、申込不要

◆シンポジウム
【今和次郎が調査した民家の今―瀝青会による「日本の民家」再訪プロジェクト】
今和次郎著『日本の民家』掲載の民家約40軒を90年後に再訪した調査から、私たちの住まい方の変容をたどり、あわせて、生活空間をフィールドワークする作法について語り合います。
日時 6月9日(土) 15時〜16時30分
会場 第5セミナー室(先着80名)
※参加無料、申込不要

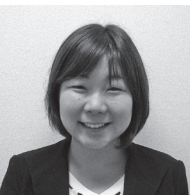
◆みんなくセミナー
左のページをご覧ください。
◆みんなくウィークエンド・サロン
詳細は本誌24ページをご覧ください。
◆ギャラリートーク
日時 館内掲示、ホームページでご案内いたします。

みんなく映画会/みんなくワールドトクメ
【僕たちは世界を変えることができる。】
But, we wanna build a school in Cambodia.
ありきたりな毎日を通している大学生が、カンボジアに学校を建てようという決心、友人たちに呼びかけます。その目標に到達するため苦勞し成長していく若者の姿を描いた、さわやかな青春映画です。
日時 5月12日(土) 13時30分〜16時30分
(開場13時)
会場 講堂(先着450名)
※参加無料、申込不要
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布

研究公演
【忘れなれない絆 絶やさぬ伝統―震災復興と文化継承を願って】
東日本大震災の影響で存続が危ぶまれた三陸地方に伝わる鹿(しし)踊りと日本に根付いた阪神地方の中国獅子舞・龍舞を通して、震災復興と伝統文化の継承を考えましょ。
日時 6月9日(土) 14時〜16時30分
会場 玄関前広場
※雨天の場合 講堂(450名)
※参加無料、申込不要
※公演終了後、1階エントランスホールでワークショップを行います。
※6月10日(日)には、神戸の鉄人28号ミニメント前での公演を予定しております。
お問い合わせ先
広報企画室企画連携係
電話 06-6878-8210

【忘れなれない絆 絶やさぬ伝統―震災復興と文化継承を願って】
東日本大震災の影響で存続が危ぶまれた三陸地方に伝わる鹿(しし)踊りと日本に根付いた阪神地方の中国獅子舞・龍舞を通して、震災復興と伝統文化の継承を考えましょ。
日時 6月9日(土) 14時〜16時30分
会場 玄関前広場
※雨天の場合 講堂(450名)
※参加無料、申込不要
※公演終了後、1階エントランスホールでワークショップを行います。
※6月10日(日)には、神戸の鉄人28号ミニメント前での公演を予定しております。
お問い合わせ先
広報企画室企画連携係
電話 06-6878-8210

【研究部の新メンバー】
小川さやか助教(研究戦略センター)が4月1日付けで着任いたしました。国立民族学博物館・機関研究員を経て現職。専門は、文化人類学、アフリカ地域研究。著書に、「都市を生きかためた地の狡知―タンザニアの零細商人マチンガの民族誌」(世界思想社)、論文に、「タンザニアにおける古着輸入の規制とアジア製衣料品の流入急増による流通変革」(吉田栄一編「アフリカに吹く中国の嵐、アジアの旋風」(アジア経済研究所)所収)などがある。



川瀬慈助教(文化資源研究センター)が4月1日付けで着任いたしました。日本学術振興会特別研究員PD/京都大学、同海外特別研究員/マンチエスター大学を経て現職。専門は映像人類学、民族誌映画制作、エチオピアの音楽芸能研究。映像作品に「マリベロッチー終わりなき祝福を生きる」(Room 11, Ethiopia Hotel)、「精霊の馬」、著作に「一見アジア・アフリカ―映像人類学の新天地」(共編/新書書房)などがある。
●無料観覧日のお知らせ
5月5日(土・祝)のごものは、特別展本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園(有料区域)を通行される場合は、入園料が必要です。
*電話でのお問い合わせの受付時間は9時から17時(土日祝を除く)です。

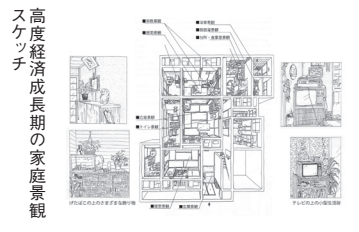
みんなくセミナー

会場 国立民族学博物館 講堂
時間 13時30分〜15時(13時開場)
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は、観覧料が必要です)

第408回 5月19日(土)
【特別展開連】
今和次郎 採集講義と日常生活文化研究の現在
講師 荻原正三(工学院大学 名誉教授)
黒石いずみ(青山学院大学 教授)
横川公子(武庫川女子大学 教授)
佐藤浩司(国立民族学博物館 准教授)

特別展に展示されている今和次郎のスケッチは、大正・昭和期の人々の普段の暮らしを生き生きと伝えます。また、その日常生活の細かな観察を記録し新たな視点で魅力や問題を探る方法には誰もが目を開かれます。今和次郎が民家研究や考現学で追求した事柄はいったい何だったのか、それが現代にどのような意味を持つのかを解き明かします。

第409回 6月16日(土)
【特別展開連】
生活財の考現学―高度経済成長期の家庭景観
講師 栗田靖之(国立民族学博物館 名誉教授)
定田正博(株式会社「イー・ディー」代表取締役)



今和次郎の「もちもの一切しらべ」を高度経済成長後の家庭の生活財に適用した栗田靖之名誉教授たちの研究は、家庭景観という視点で生活文化の現在と将来を見通した論考で、日本生活学会第5回「今和次郎賞」を受賞しました。共同研究者である定田正博氏とともに、当時の生活文化と現在について考えます。

友の会

友の会講演会(大阪)

会場 国立民族学博物館 第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員登録必須)

第408回 6月2日(土) 14時〜15時
【特別展開連】
タイムカプセルとしての民家模型
なせ縮尺が1/10なのか

講師 久保正敏(国立民族学博物館 教授)
民博の開館時につくられた、日本の4つの民家模型をご存知でしょうか?それらはTEM研究所による民家および家財道具一式の徹底的な調査、記録がベースになっています。学術資料として残すために練られた意図とその価値をあらためて考えてみます。
第409回 7月7日(土) 14時〜15時
【みんなくコレクションをかたる】
蚊帳に見えない蚊帳のはなし

講師 白川千尋(国立民族学博物館 准教授)
ラオスの蚊帳は「虫除け」というだけではなく、さまざまな機能があり、女性の嫁入り道具にもなっています。この蚊帳との出会いは異文化にふれる醍醐味を教えてください。民博収蔵の美しい蚊帳をじっくりとお見せしながらお話しします。
第409回 7月7日(土) 14時〜15時
【みんなくコレクションをかたる】
蚊帳に見えない蚊帳のはなし

東京講演会
第102回 6月9日(土) 14時〜15時
貨幣経済を問う視点
講師 小林繁樹(国立民族学博物館 教授)

物々交換や贈物交換活動と現代経済の違いは何でしょうか。単純に「貨幣」が媒介するかどうかではなく、人間関係や共同体意識がその鍵になります。アフリカをはじめとするオセアニアの交易などを事例に、現在の私たちの生活について考えてみましょ。

会場 江戸東京博物館学習室
定員 70名(要申込)
第65回体験セミナー 7月14日(土)〜15日(日)
鯨と人のくらしを考える
高知県立歴史民俗資料館、室戸市内の捕鯨関連史跡などを訪ねます。詳しくは「友の会」まで。

国立民族学博物館 ミュージアム・ショップ

電話 06-6876-3112
FAX 06-6876-0875
e-mail shop@senri-f.or.jp
水曜日定休

ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
[World Wide Bazaar]
http://www.senri-f.or.jp/shop/

特別展「今和次郎 採集講義」考現学の今」関連商品

4月26日から特別展「今和次郎 採集講義―考現学の今」が開催されています。ミュージアムショップでは考現学の創始者・今和次郎に関連した書籍や、彼のドローイングをモチーフとした一筆箋やポストカードなどのオリジナルグッズを多数用意して、みなさまの来店をお待ちしております。



『今和次郎 採集講義』(青幻舎)	2,625円
雑誌『あおもり草子』	
特集:考現学の創始者 今和次郎	600円
一筆箋(3種)	各420円
ポストカード(6種)	各150円
バッジ(6種)	各315円

価格はすべて税込